

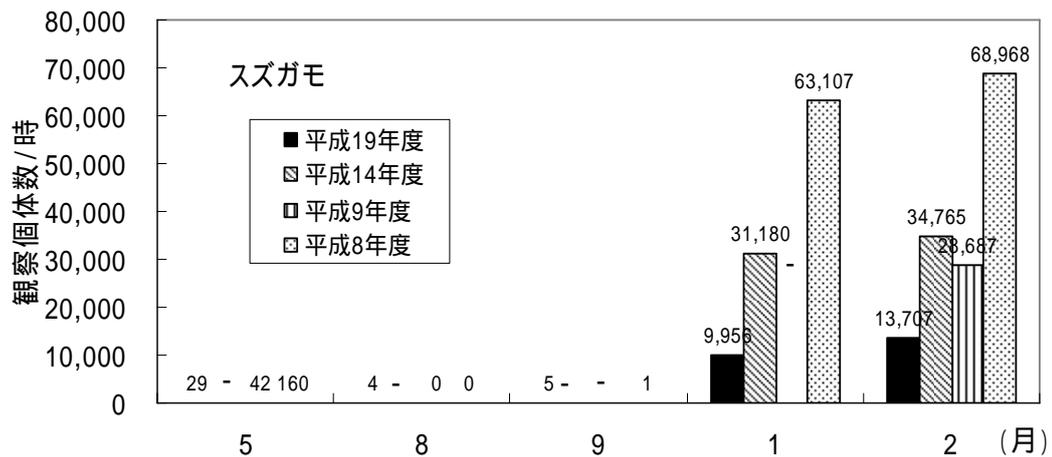
## スズガモ



平成 20 年 1 月 22 日 日の出前面で休息

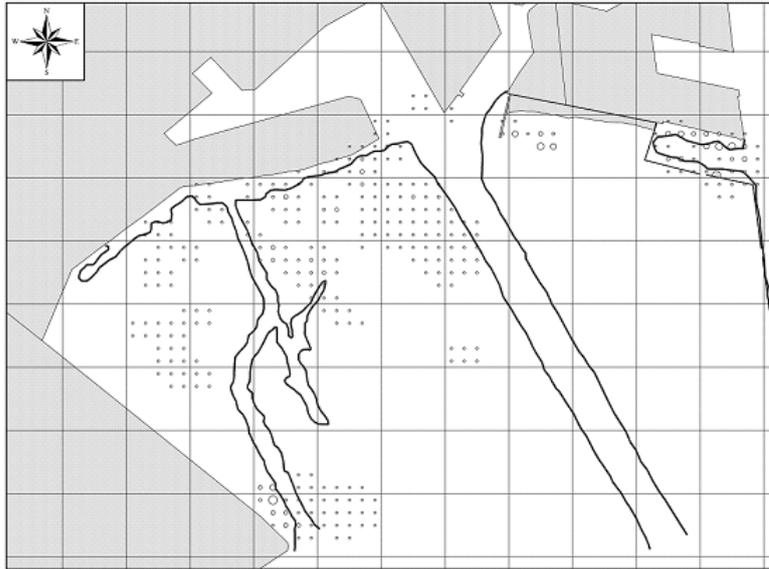
一般生態  
冬鳥として渡来し、大きい湖沼、河川、内湾に生息。雑食性ではあるが、潜水して水底の巻貝類や二枚貝類を採餌することが多い。  
三番瀬には平均約 11,500～77,000 羽（最大 80,000 羽）渡来し、三番瀬で確認されているカモ類の中で最も個体数が多い。

確認時期  
平成 8～9 年度、平成 14 年度と同様、主に冬季に確認された。  
確認個体数は、平成 8～9 年度、平成 14 年度と比較すると少なかった。



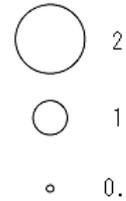
分布状況  
冬季の採餌場所を図 6-3 に示す。  
スズガモは一般に夜行性といわれているが、一部の個体は昼間でも潜水して採餌する行動がみられ、朝の 8 時、夕方の 16 時頃が比較的多かった。採餌する場所は、船橋仮航路内や塩浜～日の出にかけての岸側の水域であり、平成 8～9 年度と比べて大きな変化はなかった。採餌していたのは二枚貝類であったが、種類は識別できなかった。

冬季の休息場所を図 3-4 に示す。  
休息は三番瀬全体で広くみられ、市川航路沿いの市川側やふなばし三番瀬海浜公園前面が多かった。平成 8～9 年度にはノリ支柱柵漁場である市川航路沿いの市川側では休息がほとんどみられなかったのに対して、本年度はこの海域で休息が多かった。  
休息が多かった場所は、ノリ支柱柵の間隔が比較的広く開いた海域と一致していた（図 3-5）。  
以上のように、ノリ支柱柵は平成 8～9 年度と比べて減少しており、このことによって休息場としての利用が増えた可能性が考えられる。



平成19年度冬季

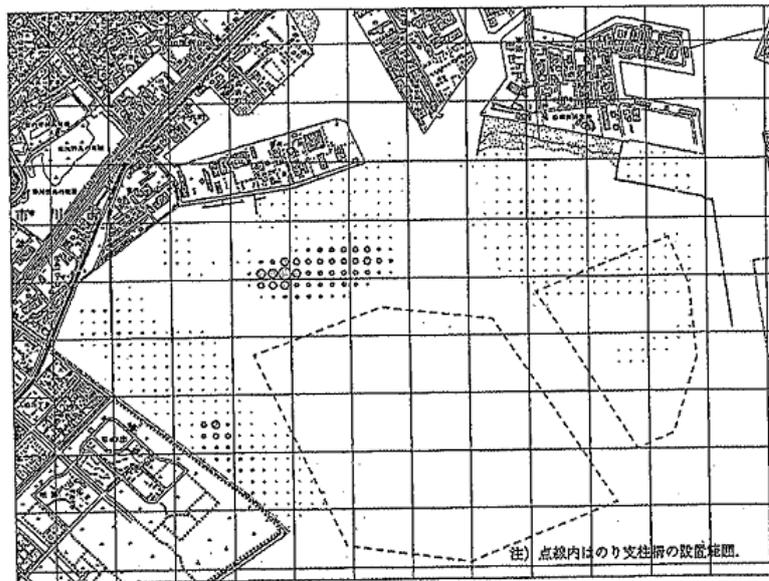
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



$$0.785x=d$$

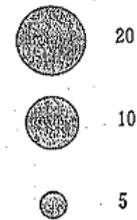
x: 密度(個体数/100m<sup>2</sup>)  
d: 直径(cm)

d ≤ 0.1の場合  
d=0.1で表示



平成8～9年度冬季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。



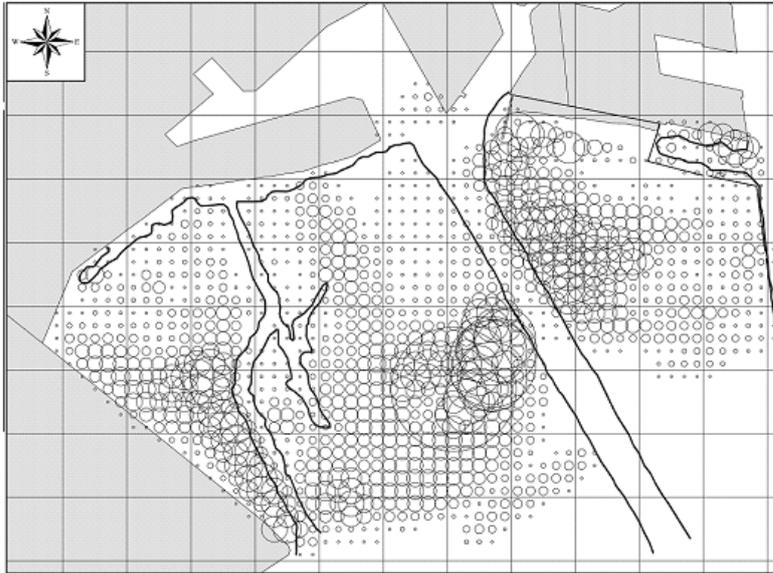
基準値10以上の場合  $x = 10^d$   
上記以外の場合  $x = 10d$

x: 密度 [個体数/25m<sup>2</sup>・対象期間]  
d: 直径 [cm]

(注) 点線内はのり支柱網の設置範囲。

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。  
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

図 3-3 冬季におけるスズガモの密度分布(採餌場所)



### 平成19年度冬季

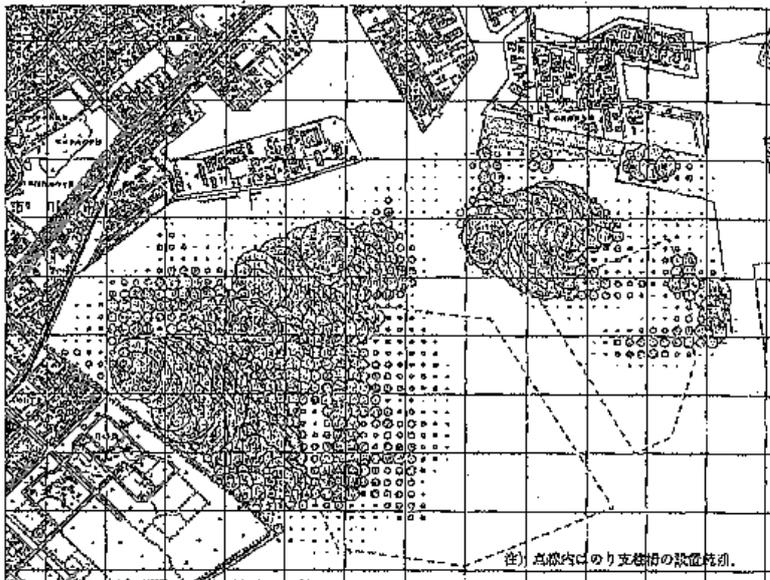
密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。

- 2
- 1
- 0.5

$$0.785x=d$$

x: 密度(個体数/100m<sup>2</sup>)  
d: 直径(cm)

d ≤ 0.1の場合  
d=0.1で表示



### 平成8～9年度冬季

密度は次式より求めた円の大きさ(直径)で表現した。

- 20
- 10
- 5

基準値10以上の場合  $x = 10^d$   
上記以外の場合  $x = 10d$

x: 密度 [個体数/25m<sup>2</sup>・対象期間]  
d: 直径 [cm]

(注) 点線内はのり支線船の設置区域。

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m<sup>2</sup>毎にまとめて表示。  
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

図 3-4 冬季におけるスズガモの密度分布(休息場所)

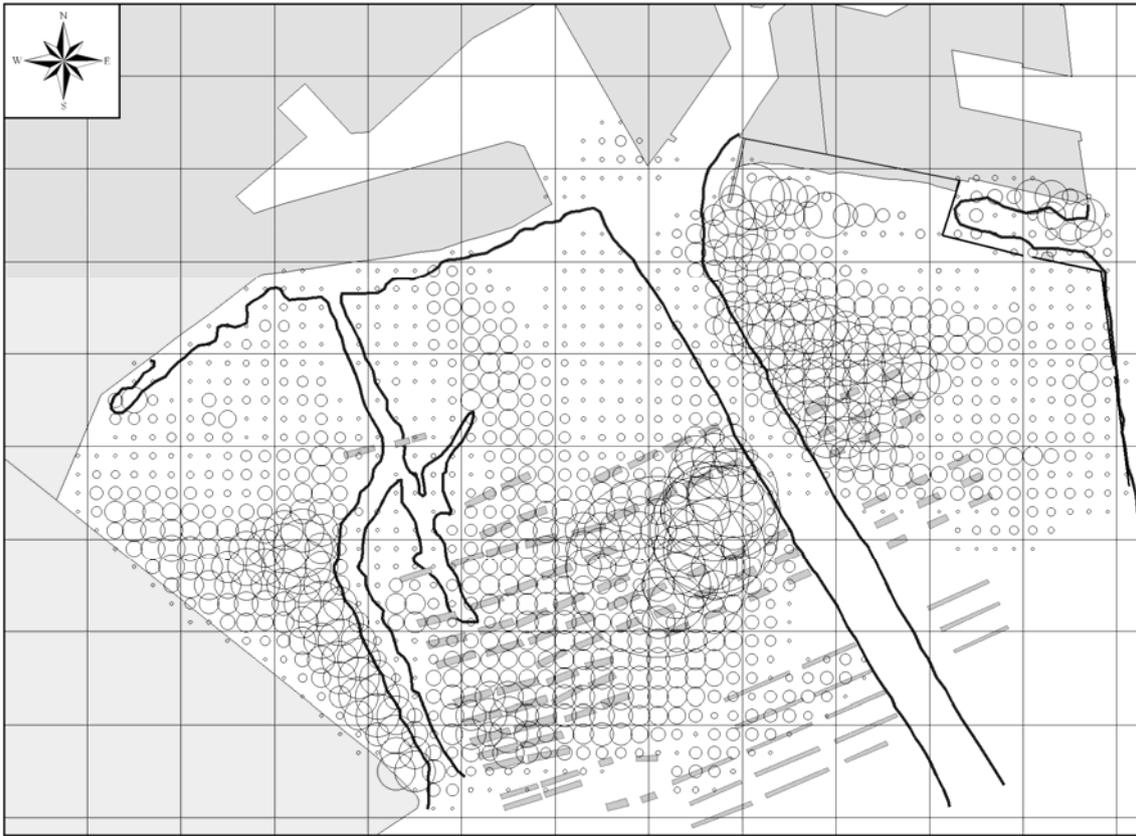


図 3-5 冬季におけるスズガモの密度分布（休息場所）とノリ支柱柵との関係

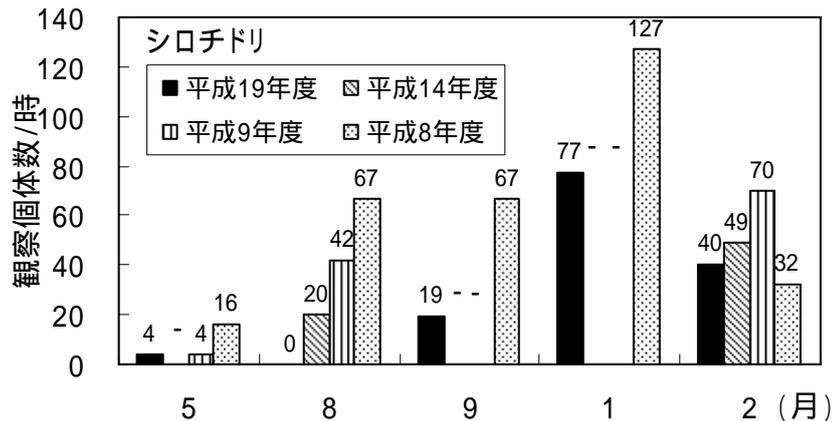
## シロチドリ

平成 19 年 8 月 28 日 ふなばし三番瀬海浜公園で採餌

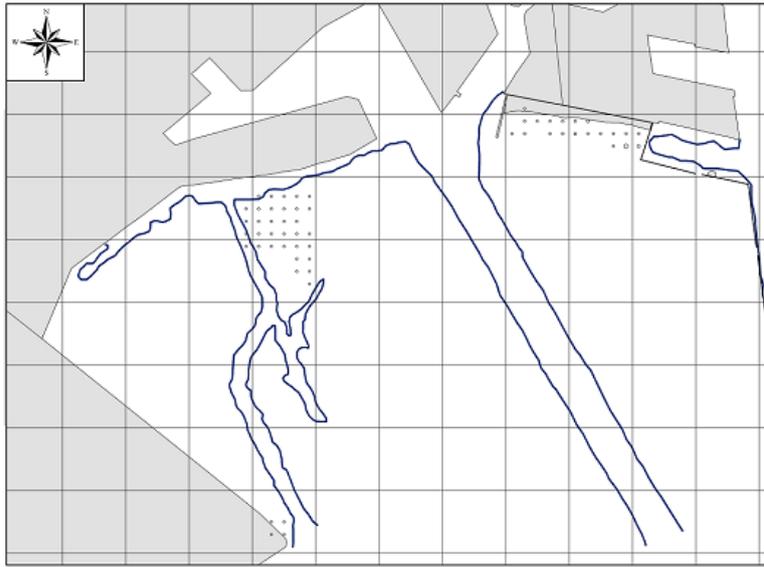


**一般生態** 夏鳥として本州以南に渡来し、海岸の砂浜、河口の干潟、大きい河川の広々とした砂州などで繁殖する。食性は昆虫、クモ類、甲殻類、ミミズ、ゴカイ類、小型の貝類。水をかぶった干潟ではほとんど採餌しない。

**確認時期** 本年度は、主に冬季に確認され、夏季の 8 月、9 月の確認個体数は平成 8～9 年度、平成 14 年度に比べて少なかった。

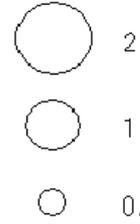


**分布状況** 夏季の採餌場所を図 3-6 に示す。  
採餌行動は潮位が低下する頃からみられ、潮位が上げ始める時間が最も多かった。採餌場所は、ふなばし三番瀬海浜公園、養貝場が主体で平成 8～9 年度同様であったが、この他に、日の出の岸壁付近でも採餌する個体がみられた。  
夏季の休息場所を図 3-7 に示す。  
休息は、船橋防泥柵上、養貝場へ向かう橋脚上でみられたが、個体数は少なかった。  
冬季の採餌場所を図 3-8 に示す。  
冬季の採餌は潮位が低下する時間から増加し、潮位が上昇し始めてからは減少した。採餌場所は、全てふなばし三番瀬海浜公園であり、平成 8～9 年度と同様であった。  
冬季の休息場所を図 3-9 に示す。  
冬季の休息は潮位の高くなり始める時間から増加し、船橋の防泥柵上で多かった。平成 8～9 年度と比べると、ふなばし三番瀬海浜公園の砂浜部、養貝場等での休息が本年度はみられなかった。



### 平成19年度夏季

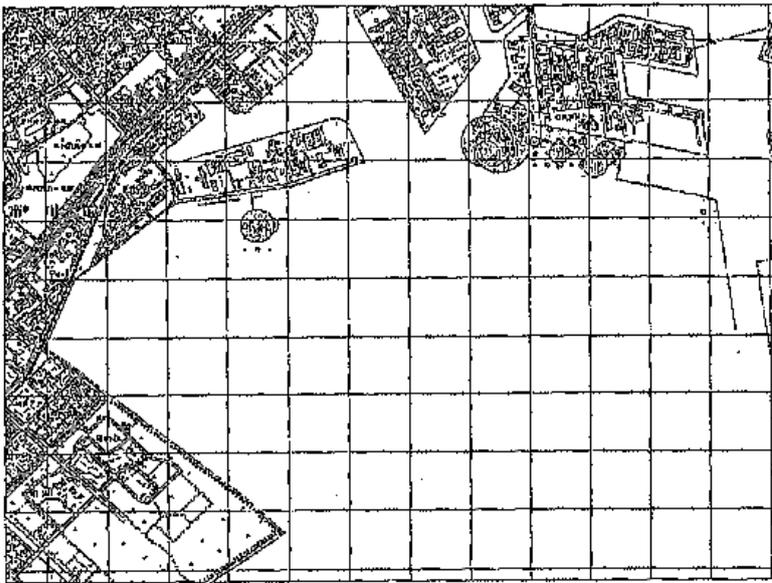
密度は次式より求めた円の  
大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合  $x=10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x=d$

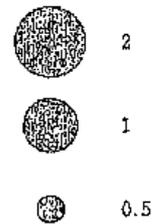
x: 密度(個体数/100m<sup>2</sup>)  
d: 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合  
d=0.1で表示



### 平成8~9年度夏季

密度は次式より求めた円の大き  
さ(直径)で表現した。



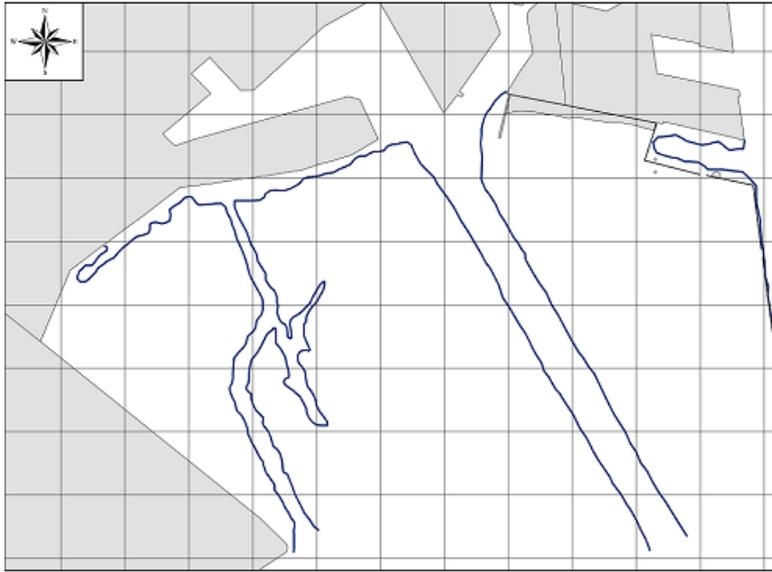
基準値1以上の場合  $x = 10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x = d$

x: 密度 [個体数/100m<sup>2</sup>・対象期間]  
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m<sup>2</sup>にまとめて表示。  
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

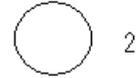


図3-6 夏季におけるシロチドリの密度分布(採餌場所)



### 平成19年度夏季

密度は次式より求めた円の  
大きさ(直径)で表現した。



2



1

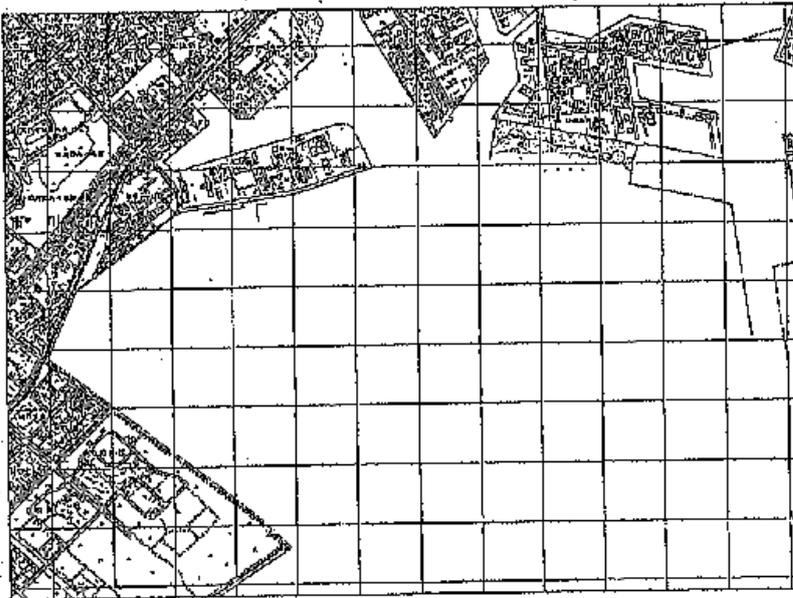


0.5

基準値1以上の場合  $x=10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x=d$

x: 密度(個体数/100m<sup>2</sup>)  
d: 直径(cm)

$d \leq 0.1$ の場合  
d=0.1で表示



### 平成8～9年度夏季

密度は次式より求めた円の大き  
き(直径)で表現した。



2



1



0.5

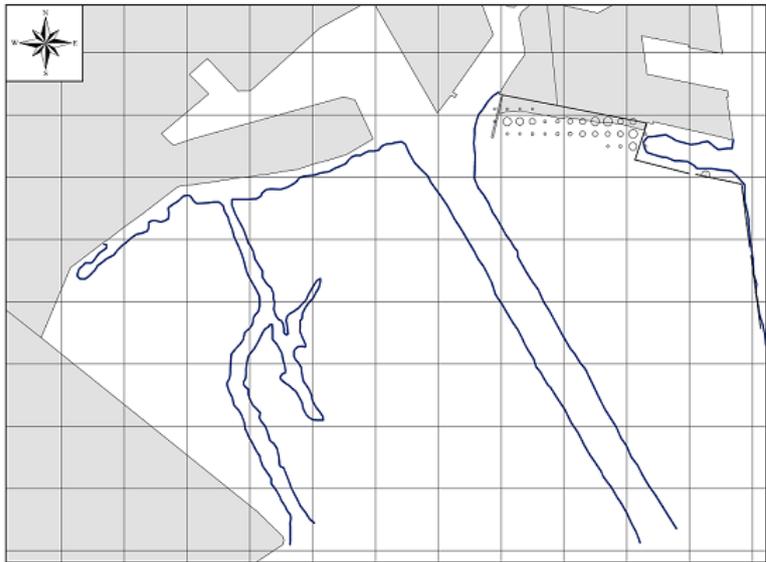
基準値1以上の場合  $x = 10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x = d$

x: 密度 [個体数/100m<sup>2</sup>・対象期間]  
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。  
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。



図3-7 夏季におけるシロチドリの密度分布(休息場所)



平成19年度冬季

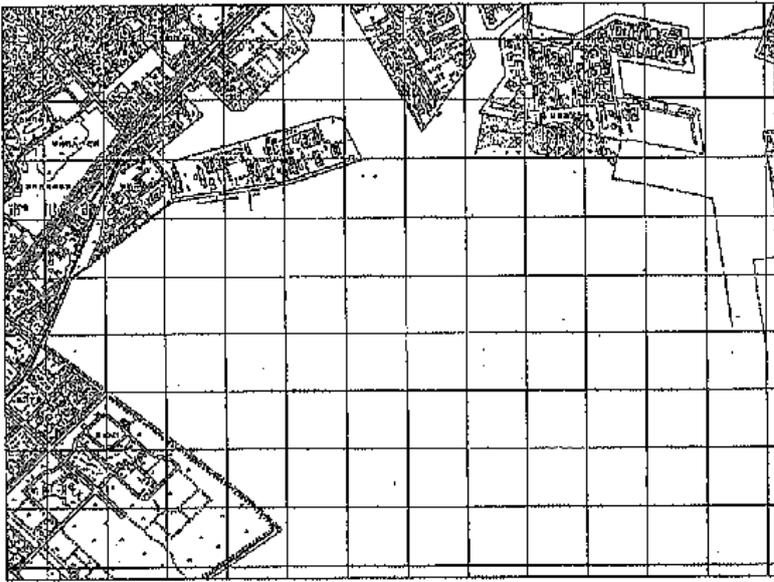
密度は次式より求めた円の  
大きさ(直径)で表現した。

-  2
-  1
-  0.5

基準値1以上の場合  $x=10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x=d$

x: 密度 (個体数/100m<sup>2</sup>)  
d: 直径 (cm)

$d \leq 0.1$ の場合  
d=0.1で表示



平成8～9年度冬季

密度は次式より求めた円の大き  
き(直径)で表現した。

-  2
-  1
-  0.5

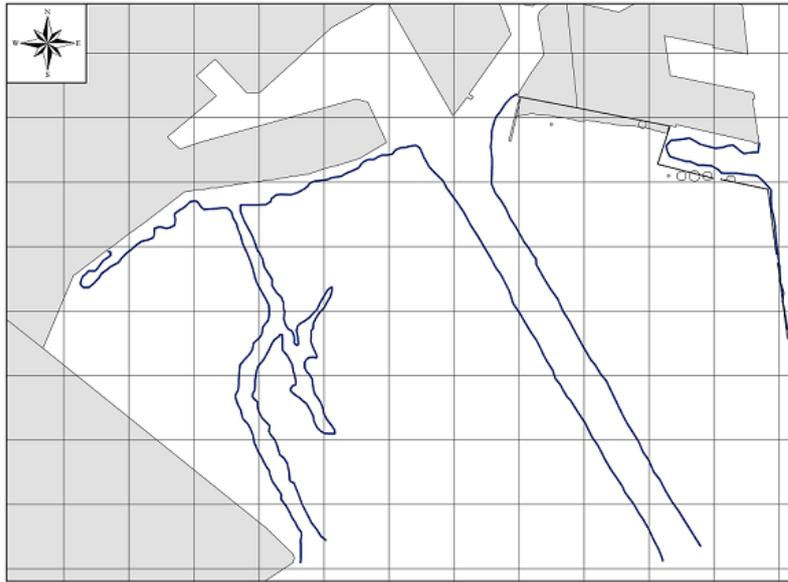
基準値1以上の場合  $x = 10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x = d$

x: 密度 [個体数/100m<sup>2</sup>・対象期間]  
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。  
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

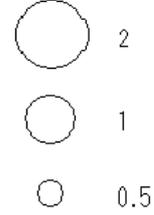


図3-8 冬季におけるシロチドリの密度分布(採餌場所)



平成19年度冬季

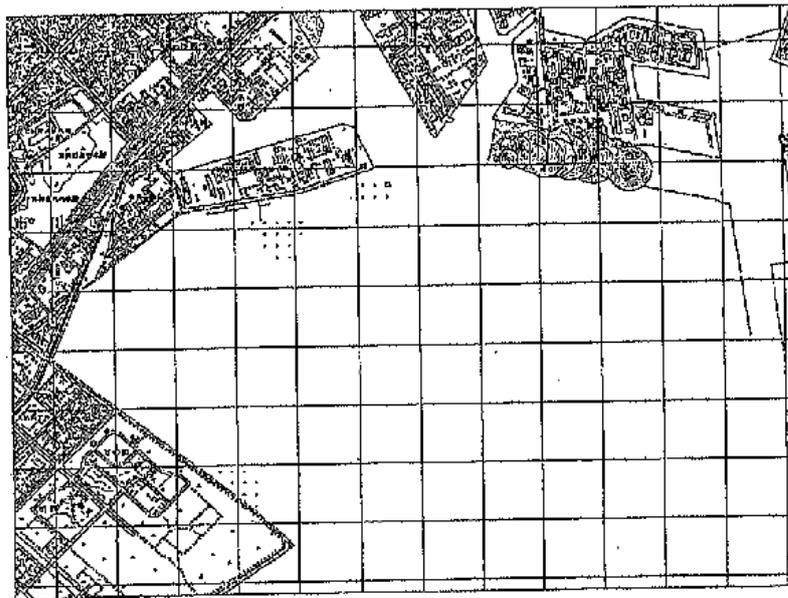
密度は次式より求めた円の  
大きさ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合  $x=10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x=d$

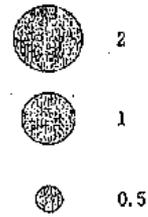
x: 密度 (個体数/100m<sup>2</sup>)  
d: 直径 (cm)

$d \leq 0.1$  の場合  
d=0.1で表示



平成8～9年度冬季

密度は次式より求めた円の大き  
さ(直径)で表現した。



基準値1以上の場合  $x = 10^{d-1}$   
上記以外の場合  $x = d$

x: 密度 [個体数/100m<sup>2</sup>・対象期間]  
d: 直径 [cm]

格子間隔を10mとして計算を行い、その結果を100m毎にまとめて表示。  
なお、地図上の格子は500m間隔で表示。

図 3-9 冬季におけるシロチドリの密度分布 (休息場所)